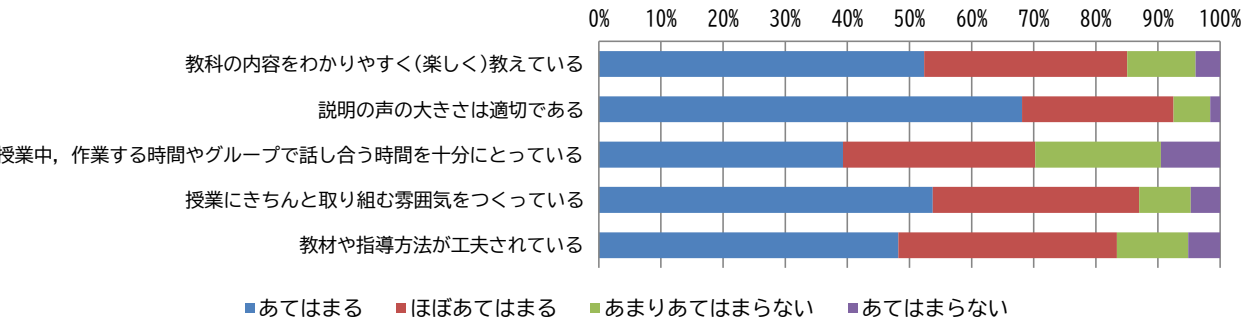


令和6年度 2 学期 生徒授業評価アンケート

教科名	保健体育	重点目標	男女共修を適切に行うための、種目に応じた指導法の充実と評価の一体化を計る～指導法を共有し、個別最適な学びと協働的な学びの指導および評価のブラッシュアップを目標とする。
-----	------	------	---

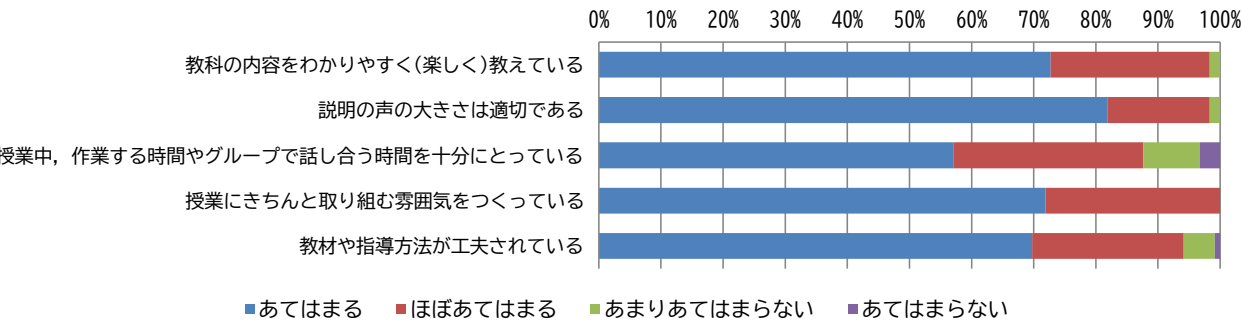
学習指導に関する現状と課題（2 学期・生徒による授業評価アンケートより）

1 年 保健体育



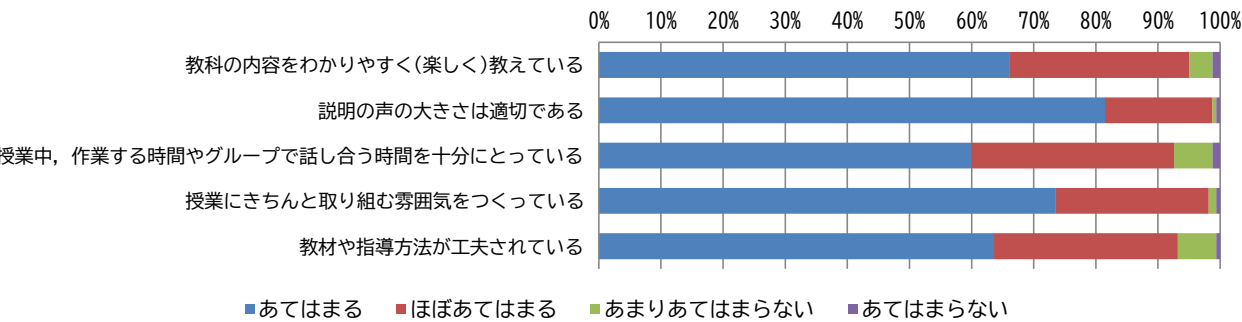
分析
 単元にもよるが、話し合い活動は少なく設定している。理由は、まず話し合い活動をするための「引き出し」となる正しい技術理論や運動方法などを丁寧に理解する必要があるためである。
 「守破離」の「守」にあたるので、それを意識していきたい。
 それ以外は、青色と赤色を合算して80%～90%の達成を見ることができているので、1年生のうちはこの方法で通したい。

2 年 保健体育



分析
 場の工夫や種目の工夫で共修することは可能だが、大きな事故を伴う種目（走り高跳び・水泳・跳び箱）については、評価の工夫はできるが「安全」や「技の向上」を考えると別習かITで行うことが望ましく感じる。授業には熱心に取り組んでいるので、継続していきたい。

3 年 保健体育



分析
 2 学期は、水泳、球技、長距離走を行った。そのためグループ活動を中心に生徒が主体的に学ぶ場面を多くした。だが、生徒の反応としては、もう少し工夫した活動を求めているようだ。種目により男女でグループを組めるもの、男女別で行うものがあるため、授業内容の工夫が必要である。

